

## 病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

## 1 基本情報

法人名	医療法人 徳洲会
医療機関名	千葉西総合病院
所在地	千葉県松戸市金ヶ作 107-1

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

## 2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input type="checkbox"/> 新築(建替含む) <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input checked="" type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input type="checkbox"/> 特別交付税措置 <input type="checkbox"/> 特別償却制度 <input type="checkbox"/> 県補助金

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

## 3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前	○	○	○	○		○	○		○		
整備後	○	○	○	○		○	○		○		
その他の内訳 及び補足等											

## 4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、疼痛緩和内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科
	整備後	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、疼痛緩和内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科

## 5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料
4 機能 合計	680 床	680 床	
高度急性期	393 床	411 床	ハイケアユニット入院医療管理料、 (救命救急入院料)
急性期	227 床	209 床	
回復期	60 床	60 床	回復期リハビリテーション病棟入院料
慢性期	0 床	0 床	
人間ドック等	0 床	0 床	
休棟等	0 床	0 床	

## 6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

「医第 2153 号平成 31 年 2 月 7 日付 病床の配分について（通知）」より一般病床 72 床の配分病床あり。令和 4 年 12 月、回復期リハビリテーション病棟入院料の届出予定病棟含む別館を現在建設中であり、令和 6 年 4 月頃に完成予定となっております。併せて、今後ハイケアユニット入院医療管理料（その後、救命救急入院料へ）届出予定病棟も院内工事の予定であり、令和 5 年 9 月頃に完成予定です。

①特定集中治療室管理料 1（ICU）20 床②ハイケアユニット入院管理料 1（HCU）6 床

①約 2 割の日で満床状態、稼働率 80%超②約 6 割の日で満床状態、稼働率 90%超  
重症度・看護必要度の高い患者を適切な病床で診られていない現状があり、当院の役割として、今後も多くの重症度の高い患者及び救急（緊急）患者を受け入れる必要があるため、高度急性期病床の増床が必要となっております。当院は現在の急性期病床において、医療資源投入量（1 日当たりの日当点）は 2000 点～3000 点であり、高度急性期病床においては 4000 点以上あり、診療密度の高い医療を提供しております。

## 7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

当院は地域医療支援病院申請中であり、救急医療のみならず、地域の医療の中核病院として、「かかりつけ医・歯科医」「訪問診療医」の方々と連携をとり、地域に必要な医療を提供できればと考えております。地域包括ケアシステムの構築に向け、当院の役割である医療、特に急性期の治療が落ち着いた患者様をかかりつけ医等へお戻りする逆紹介率は 83.4%（令和 3 年度）であり、引き続き積極的な病診連携を行ってまいります。

ネットワークにおいては、当院は現在、松戸市急性循環器疾患治療（CCU ネットワーク）及び東葛北部 5 市消化管出血治療（GIB ネットワーク）に参加しており、地域の救急医療の一翼を担っております。

あわせて当院では、千葉県共有地域医療連携パス（脳卒中・がん）に参加・利用しており、20 件程度/月の患者様の情報を他院と共有・連携させて頂いております。

## 8 整備スケジュール

供用開始予定	・院内改築 2023年 9月予定 ・増築 2024年 4月予定
その他補足	6で示した通り、改築で高度急性期、増築において回復期の病床の増床を予定しております。

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団 創造会
医療機関名	平和台病院
所在地	千葉県我孫子市布佐 834-28
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	
高度急性期	床	床	
急性期	106 床	104 床	急性期一般 86 床、緩和ケア病棟 18 床
回復期	78 床	80 床	回復期リハ病棟 40 床、地域包括ケア 40 床
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

近隣地域の必要性を考慮し、緩和ケア病棟を2床減らして回復期リハ病棟を2床増やしました。
---

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	
医療機関名	我孫子つくし野病院
所在地	我孫子市つくし野 131-1
変更事項	■ 今後担う役割      ■ 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前	○	○	○	○		○				○	
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料	
			高度急性期	急性期
4 機能 合計	83床	0床		
高度急性期	床	床		
急性期	53床	0床		
回復期	床	床		
慢性期	30床	0床		
人間ドック等	床	床		
休棟等	床	床		
廃止予定	床	83床		
介護施設等への移行予定	床	床		

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

医療法による開設者の変更や療養環境の維持が難しくなり、事業継続が困難となった。
---

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団 圭春会
医療機関名	小張総合病院
所在地	千葉県野田市横内 29 番 1
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	350 床	350 床	
高度急性期	14 床	14 床	
急性期	290 床	294 床	
回復期	46 床	42 床	
慢性期	0 床	0 床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

一般急性期病床のひっ迫に伴い、地域包括ケア病床のうち4床を一般急性期病床に変更したものを。
---

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団聖秀会
医療機関名	医療法人社団聖秀会 聖光ヶ丘病院
所在地	千葉県柏市光ヶ丘団地2番地3号
変更事項	<input checked="" type="checkbox"/> 今後担う役割 <input type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											○
変更後						○				○	○
その他の内訳及び補足等	<p>現在当院は、急性期病棟と地域包括ケア病棟においてかかりつけ患者を中心に救急患者の受け入れを行っています。</p> <p>2022年度の診療報酬改定において地域包括ケア病棟の施設基準に救急告示病院であることが要件に加わり、これまで以上に救急医療の重要性が強く打ち出されたため、今後は別紙に記載した医療が担える医療機関として、地域の救急医療に貢献していきます。</p> <p>※ 現在（2022年）、救急告示病院の指定申請中。</p>										

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料	
			1	2
4機能 合計	床	床		
高度急性期	床	床		
急性期	床	床		
回復期	床	床		
慢性期	床	床		
人間ドック等	床	床		
休棟等	床	床		
廃止予定	床	床		
介護施設等への移行予定	床	床		

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

--

## 《別紙》

## 2. 2025 年において担う役割

当院は、①一般急性期病棟(10:1)のほか、②急性期から在宅復帰までを支援する地域包括ケア病棟、③重度の肢体不自由や重度の障害をお持ちの方が安心して入院治療を受けることができる障害者施設等病棟、④在宅や介護施設等で療養困難な慢性期患者に対応した医療療養病棟、以上4つの病棟(病床)機能を持ち、救急～急性期・回復期～慢性期入院、在宅医療まで多様なニーズに対応可能な地域密着型のケアミックス病院を目指します。

●病院の特徴：高齢社会にともない、地域包括ケアシステムの中核を担える病院

- 救急告示病院として一次から二次の救急患者に対応します。
- 入院を必要とする軽症急性期や治療後急性期(sub acute/post acute)の患者様に対し、地域包括ケア病棟を中心に積極的な受け入れを行います。
- 整形外科や脳神経外科の患者(他医療機関からの術後患者含む)に対し、急性期および回復期における入院から退院後のリハビリまで、幅広いリハビリテーション医療を提供します。
- 医療依存度の高い意識障害や神経難病患者に対し、障害者施設等病棟または医療療養病棟で対応します。
- 内科では common disease(認知症含む)への対応は勿論のこと、眼科手術(白内障、緑内障、硝子体等)、皮膚科入院(褥瘡等)にも対応します。

## (補足) 診療科目：13 療科

- 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・精神科・心療内科・リハビリテーション科・放射線科

## (当院の現状)

- 平成 25 年の開院以来、東葛北部および柏市光ケ丘団地を中心として、柏市南西部の地域医療の担い手として、地域の多様なニーズに対応すべく、総合的に医療を提供しているケアミックス型の病院です。
- 急性期～回復期～慢性期で患者様の病期・病態に応じ、4つの病床で機能的に対応します。
- 在宅療養後方支援病院として、在宅医療に取組む診療所の後方病床を有しています。
- 新興感染症等に対応した発熱外来やコロナ患者の入院患者の受け入れを行っています。
- 連携先介護施設等の協力医療機関として、高齢者救急に対応しています。

## (当院の未来像)

- 急性期機能では、内科のほか、手術を伴わない整形外科や脳神経外科疾患に対して一次から二次の救急患者の受け入れを強化します。
- 急性期病棟や地域包括ケア病棟だけでなく、慢性期病棟においてもリハビリスタッフが在宅復帰を目指し、リハビリテーションの多様化に対応します。
- 在宅療養支援診療所の先生方と連携し、地域の在宅医療の更なる拡充に貢献します。
- 在宅や連携先に関係なく介護施設等の発熱や脱水、肺炎や大腿骨転子部骨折等(術前まで)、高度急性期を担う医療機関で対応する必要性が低い疾患や病態に対する高齢者医療を担います。



## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人聖峰会
医療機関名	岡田病院
所在地	千葉県柏市末広町 2-10
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料	
			地域一般 1	療養 1
4 機能 合計	162 床	105 床		
高度急性期	0 床	0 床		
急性期	95 床	51 床	地域一般 1	
回復期	0 床	0 床		
慢性期	67 床	54 床		療養 1
人間ドック等	0 床	0 床		
休棟等	0 床	0 床		
廃止予定	0 床	57 床		
介護施設等への移行予定	0 床	0 床		

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

急性期・慢性期ともに入院患者が減ってしまっているため、急性期病床・慢性期病床ともに一部病床を廃止予定。
---

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団協友会
医療機関名	柏厚生総合病院
所在地	千葉県柏市篠籠田 617 番地
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	420 床	420 床	
高度急性期	286 床	326 床	ハイケアユニット入院医療管理料 1、急性期一般入院料 1
急性期	0 床	0 床	
回復期	134 床	94 床	回復期リハビリテーション病棟入院料 1
慢性期	0 床	0 床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

新入院患者数、救急受入件数、手術件数が増加し続けている反面、救急断り件数も増えるなど急性期医療体制がひっ迫している状況である。また、高度急性期病棟にてコロナ病床専用を運用しているため、回復期機能を高度急性期機能に転換して急性期疾患の受入を増やし、コロナで受入れられなかった高度急性期の患者を受入れ地域の高度急性期医療に貢献すべく、病床の転換を実施したく申請する。

## ＜参考＞病床のイメージ

		現在病床数	2023.5 変更後	2024.10 変更後
4機能 合計		322 床	322 床	420 床
	高度急性期	276 床	276 床	326 床
	急性期	0 床	46 床	0 床
	回復期	46 床	0 床	94 床
	慢性期	0 床	0 床	0 床

平成 31 年 2 月 7 日に病床配分にて回復期病床 94 床と高度急性期病床 8 床の配分を受けましたが、2023 年 5 月の病床転換は既存である 46 床の回復期病床を急性期病床へ変更するのみであります。2024 年 10 月の増床後には表の通りの運用といたします。

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	
医療機関名	大川レディースクリニック
所在地	千葉県松戸市馬橋 1902
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	19 床	3 床	
高度急性期	床	床	
急性期	19 床	3 床	
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	0 床	16 床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

産科廃止により病床を廃止する方向で検討している為。
---------------------------

## 病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

## 1 基本情報

法人名	医療法人社団マザー・キー
医療機関名	(仮称) ファミール産院ながれやま
所在地	千葉県流山市西初石4丁目1417-1, 1417-2, 1422-1, 1422-2

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

## 2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む)	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input type="checkbox"/> 特別交付税措置	<input type="checkbox"/> 特別償却制度	<input type="checkbox"/> 県補助金	

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

## 3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前											
整備後								○	○		
その他の内訳 及び補足等											

## 4 整備後の診療科

診療科名	整備前	
	整備後	産科、婦人科、小児科

## 5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料	
			床	料
4 機能 合計	床	床		
高度急性期	床	床		
急性期	床	19 床	有床診療所入院基本料	
回復期	床	床		
慢性期	床	床		
人間ドック等	床	床		
休棟等	床	床		

6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

別紙にて開院の経緯と、以後の役割、機能についてご説明いたしております

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

妊娠期、分娩時、分娩後において、高次施設との連携は不可欠です。2023年2月6日の現時点ではまだどの病院・医院とも連携はできておりませんが、今後地域の基幹施設との連携を早期実現し、母子ともに安全なお産ができるように図ります。また、近隣の小児科や内科、歯科の先生方とも連携に努め、妊娠から子育て期までを地域一体となって、トータルサポートができるように環境整備したいと考えています。

その後は、当院の特徴でもある産科救急、母体搬送、緊急時の対応についての講習会を実施して、地域の先生方にも御指導をいただきながら、地域の母体死亡率や、重症化症例の減少に努めたい所存です。

8 整備スケジュール

供用開始予定	2024年 11月予定
その他補足	工事の進み具合や申請の進捗により、多少前後する場合がございます

## (仮称) ファミール産院ながれやま

### 開院の経緯と、以後の役割、機能について

#### <本件経緯について>

人口増加の一途をたどる流山市の井崎義治市長からのご要望を受け、当院の理念にもある「地域のお産を守る」の方針に沿い、流山市内での開院を目指すことと致しました。流山市には他に複数のお産施設が既に存在しますが、年間2千件を超える流山市でのお産すべてに対応することができておらず、本人の希望に関わらず市外での出産を余儀なくされている妊婦様が多くいらっしゃるのが現状で、早急にお産施設を増設する必要があると伺っております。当院では2024年11月に開院し、流山地域の発展をバックアップすることを使命と考えております。

#### <マザーキーグループについて>

2005年、杉本雅樹（現・理事長）が前任者より施設を継承して千葉県館山市にて「ファミール産院たてやま」を開業しました。2014年には、千葉県君津市の要望に応じて「ファミール産院きみつ」を、2015年千葉市に「なのはなクリニック」をオープン、さらに継承者不在ながらも地域のお産を守ることを望んでおられた千葉市の産婦人科施設をグループ施設として継承し「ファミール産院ちば」といたしました。そして2020年に市川市で院長が高齢かつ継承者不在のため分娩休止と施設閉鎖を検討していた産婦人科医院を継承して「ファミール産院いちかわ」とし、その後習志野市にも「ファミール産院つだぬま」を開院しました。現在グループ全体で6施設（80床）を運営していますが、規模拡大が目的ではなく、地域の分娩施設の維持・存続を第一に考えて展開しております。

#### <今後の役割、機能について>

全国の1次分娩施設の課題は医師の高齢化と継承者不在です。そのような中、理事長である杉本雅樹は50歳と産婦人科医師としては若く、今回、自らが本施設の医師として着任する予定にしております。また当グループには複数の医師が在籍しているため、相互サポートの体制も整っており、長期に渡り、地域の分娩を守り抜く環境があります。

また、他の医療基幹施設との連携体制を構築を目指しており、その後は当院の特徴でもある産科救急、母体搬送、緊急時の対応についての講習会を実施して、地域の先生方にも御指導をいただきながら、地域の母体死亡率や、重症化症例の減少に努めたい所存です。

以上、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(次ページに概要)

<参考資料>

**【当該施設概要】**

名 称：（仮称）ファミリー産院ながれやま

診療科：産科・婦人科（分娩を取り扱う診療所）・小児科

所 在：千葉県流山市西初石4丁目1417-1, 1417-2, 1422-1, 1422-2

建 物：鉄筋コンクリート2階建

病 床：19床

医 師：3名（見込み）

総従業員数：35名（見込み）